

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成23年11月8日(火)

第25号

発行人 校長 鈴木史良

総合的な学習の充実

—— 本気で取り組みれば取り組むほどおもしろくなる ——

10月31日(月)、深良中1年生全員が「総合的な学習の時間」を使って、午前中は演劇「いのちの用水」に使用する大道具・小道具の製作、午後は深良用水について調べたことをグループごとにパワーポイントを使ってプレゼンテーションをおこないました。

午前中に行われた大道具・小道具の製作には1年生の保護者の皆様が駆けつけてくださいました。木工室では保護者である本職の大工さんが見事な技を披露しました。木材を削ると心地よい音とともに檜や杉の香りが満ちました。この材木を使って、高さ2m近くある坑道内に立てられた木組みの柱

を表現しました。また部屋のシーンで使う間仕切りや農作業用のクワなども作りました。

隣の部屋では竹を削って竹ひごを作り、それを使った骨組みに紙を貼りつけた張りぼての大岩、小岩を製作しました。お父さんお母さん方やお祖父さんお祖母さんが子どもたちと一緒に製作活動している姿はたいへんすばらしい光景でした。

子どもたちの劇作りのため、大道具・小道具の製作及び材料のご提供に保護者、地域の皆様のご協力をいただき、本当に感謝しています。また、午後、格技場で行われた「深良用水」についてのグループ発表会も保護者の皆様に参観していただきました。

11月2日(水)午後には、3年生による総合的な学習「個別テーマ学習」発表会がおこなわれました。3年生全員がA～Dグループに分かれ、4つの教室会場で一人一人取り組んできた個人テーマについての学習の成果が発表されました。発表時間は一人5分間程度で、発表後には質疑応答や感想発表の時間も組み込まれていました。どの生徒もパワーポイントを使ったプレゼンテーションをおこない、パソコンをうまく使いこなしているな



木組みの柱づくりにはプロの指導



竹を削るワザに感嘆！



グループで「深良用水」について発表

あと感心させられました。各会場に責任者の生徒が配置され、運営もスムーズでした。
その中で、3年B組の梶原菜帆さんの発表を紹介いたします。

個人テーマ「就職難について」

私がこのテーマにした理由は、最近大学に行っても就職できない人が増えていることを知り疑問に思ったこと、そして自分の将来が大丈夫かと不安に思ったからです。

まず挙げられるのは大学生が多いことです。全国の大学数は1992年に523校だったのが2010年には778校に増え、大学生数も43万8千人から54万1千人に増加しています。近年、大学に入るのが当たり前になっているように思います。

次に挙げられるのは、企業が厳選採用するようになったことです。企業が厳格に設定した基準に達しない学生は採用されなくなっています。バブル経済の時のように数を確保する時代ではなく、大学進学率が50%を上回る現在では、大学生に特別な価値はありません。

第3に挙げられるのは、外国人採用が増えていることです。企業は外国人留学生の語学力やバイタリティーを評価していて、海外進出の先兵としても期待しています。さらに最近では、外国の大学に通う外国人の採用に積極的な企業が増えてきました。日本企業が北京大学に通う中国人を採用するために中国で採用活動する例も出てきました。この他にも、求職者が求める仕事と採用しようとする人材のミスマッチや景気動向による企業側の採用数の減少が原因として挙げられます。

次は就職難の現状です。2011年に4年制大学を卒業した学生は約55万人。その中で就職した学生は約34万人(61.6%)でした。進学も就職もしていない学生は約8万8千人(15.9%)、アルバイトなど一時的な仕事に就いた学生は約1万9千人(3.5%)、大学院に進学した学生は約7万人(12.9%)でした。就職が決まらないため、やむを得ずフリーターや大学院進学を選んだ学生も多くいたと思われます。(中略)

最後に、企業から必要とされる人材についてです。

豊かな発想力、コミュニケーション能力、仕事への熱意、問題発見能力、問題解決能力、グローバルセンス、社会への貢献意欲、英語力、ITスキル、継続的な学習能力等が企業から求められています。その他にも、自分の頭で考えたことを自分の言葉で表現したり、指示待ち人間ではなく、自らビジネスチャンスを見出し、自らビジネスモデルを創造できる人材が必要とされています。大学に入ったからといって就職できるわけではありません。だから英語が話せるようにするなどして、企業が必要とする人材になることが重要だと思います。

現代の社会問題にかかわる難しいテーマについて、現実をしっかりと見極めながら自分なりに何が必要なのかを考え、まとめているところがたいへん立派ですね。



3年生の発表を真剣に聞く1.2年生



一生懸命プレゼンする3年生